

令和4年度
学校自己評価報告書

令和5年4月
学校法人大志学園
武蔵野学芸専門学校

学校の教育目標

本学は開学当初より、グローバル教育を視野に入れて指導を行ってきました。そのため、世界各国からアートを目指す学生が集まり、お互いの個性を磨き合う環境があります。そして、海外でグローバルスタンダードとなっている多重知能理論を取り入れたアーティスト、デザイナー養成プログラムや専門学校では珍しい美術史、美術解剖学の講義が展開されることで、世界で活躍できるアーティスト、イラストレーター、デザイナー、美大進学を目指すことができます。

本年度(2023年度)の教育目標

- ・国内、海外美術大学との教育連携の充実
- ・就職活動支援、進路支援の充実
- ・一流クリエイター、デザイナーの特別授業により学生の知識の拡充を図る
- ・卒業生、在校生アーティスト支援

実施体制

常勤職員全員により実施

各評価項目に対する評価

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

(1) 教育理念・目標

評価項目	評価 (4~1)
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
・ 学校における職業教育の特色は定められているか	4
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

①課題

資格の取得に対する教育

企業説明会 (就職説明会) の実施

就職率向上に向けた取り組み

②今後の改善方策

美術、デザイン関連に関する講義の充実

合同企業説明会の実施

③特記事項

(2) 学校運営

評価項目	評価 (4~1)
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

①課題

教務における教員間の業務内容の共有とシェア

②今後の改善方策

教務会議の充実、教員研修の充実

③特記事項

教職員研修の実施

(3) 教育活動

評価項目	評価 (4～1)
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

在学中にクリエイティブ・アート業界の公募展出品

教員の指導力向上、学生ケア力の向上

②今後の改善方策

応募できるコンペの掲示と授業カリキュラムへの取り入れ

③特記事項

(4) 学修成果

評価項目	評価 (4~1)
・ 就職率の向上が図られているか	3
・ 資格取得率の向上が図られているか	2
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握している	4
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4

①課題

就職希望者に向けたフォロー体制の構築。

アーティスト希望者に向けた卒業後のフォロー体制の充実。

②今後の改善方策

就職に向けた特別ゼミの設置と就職活動担当者の設置。

佐藤美術館立島恵先生との連携を引き続き実施する。

③特記事項

(5) 学生支援

評価項目	評価 (4~1)
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	4
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	3
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・ 卒業生への支援体制はあるか	4
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

①課題

クリエイティブ業界への就職、大学への編入希望者への対応。

②今後の改善方策

企業説明会の実施の強化、就職支援担当教員の設置

③特記事項

本校の設置する武蔵野美術教育研究所にて、教員と卒業生の作品を見ることが出来るリストを制作し、武蔵野学芸専門学校主催の展示を実施する。

(6) 教育環境

評価項目	評価 (4~1)
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
・ 防災に対する体制は整備されているか	4

①課題

大型作品制作のためのアトリエ確保

②今後の改善方策

制作スペースを確保するための教室割、時間割の調整を行う。

③特記事項

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	評価 (4~1)
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4

①課題

エリアに合わせて募集活動の充実。

②今後の改善方策

エリアマーケティングを考慮した上で、効果的な募集活動を行う。

(8) 財務

評価項目	評価 (4~1)
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価 (4~1)
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされ	4
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている	4
※・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	3
※・ 自己評価結果を公開しているか。	4

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価 (4~1)
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。	4

①課題

地域の子供達に向けたアートによる教育支援

②今後の改善方策

夏期の外部向け公開講座やイベント等の実施。

③特記事項

(1 1) 国際交流（必要に応じて）

評価項目	評価（4～1）
・ 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4
・ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	4
・ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	4
・ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか。	4

①課題

留学生の直接受入れ・派遣についての設定、戦略。

②今後の改善方策

海外の学校との教育連携と受け入れ連携を行う。

③特記事項

留学生に対する対応状況は向上している。

学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果 学校評価を毎年定期的かつ真摯に実施することにより、社会と学校、学生の状況を速やかに把握し、具体的に各部門を数値化することによって、学校の状況を分析しやすい状態をつくっていく。

またこのデータにより、教職員の意識を高め、問題点をよく検討していくことにより、より良い社会との関係性の構築、また本校の教職員、本校と学生関係を築いていく。現在の自己評価では概ね一定の評価がある一方、組織の意思決定や人材配置のバランス、教員研修や資格取得、学生の課外活動に対する支援など、まだまだ課題を残すところもあり、今後善処できるよう努めたい。